

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年3月4日(2010.3.4)

【公開番号】特開2008-168034(P2008-168034A)

【公開日】平成20年7月24日(2008.7.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-029

【出願番号】特願2007-5662(P2007-5662)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

A 6 3 F 5/04 5 1 2 J

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Q

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月14日(2010.1.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技を開始する上で用いられる遊技媒体を仮想遊技媒体として貯留記憶する貯留記憶手段と、

その貯留記憶された仮想遊技媒体を遊技媒体として排出させるべく操作される排出操作手段と、

遊技媒体を排出する排出手段と、

前記排出操作手段の操作に基づいて、前記貯留記憶された仮想遊技媒体に対応した数の遊技媒体を排出するよう前記排出手段を制御する排出制御手段と
を備えた遊技機において、

前記排出制御手段による排出制御に基づいて排出される遊技媒体の累積数を把握する把握手段と、

所定開始タイミングから所定終了タイミングまでの範囲内において前記把握手段により把握された前記累積数が予め設定された基準数に達したか否かを判定する判定手段と
を備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記所定開始タイミングから前記所定終了タイミングまでの規定期間を計測する期間計測手段を備え、

前記判定手段は、前記規定期間内において前記把握手段により把握された前記累積数が予め設定された基準数に達したか否かを判定するものであり、

前記期間計測手段は、前記規定期間の計測を実行していない場合、前記貯留記憶手段に仮想遊技媒体が貯留記憶されている状況で前記排出操作手段が操作されることに基づいて前記規定期間の計測を開始することを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記排出制御手段は、

前記排出操作手段が操作されたか否かを判定する操作判定手段と、

前記貯留記憶手段に前記仮想遊技媒体が貯留記憶されているか否かを判定する貯留記憶判定手段とを備え、

前記操作判定手段に前記排出操作手段が操作されたと判定され且つ前記貯留記憶判定手段に前記仮想遊技媒体が貯留記憶されていると判定された場合に、前記排出制御を実行する構成とし、

前記把握手段は、前記排出制御が開始される前に前記貯留記憶手段に貯留記憶されている仮想遊技媒体数を前記排出制御の複数回分に亘って累積した数を前記累積数として把握し、

前記判定手段は、前記操作判定手段に前記排出操作手段が操作されたと判定され且つ前記貯留記憶判定手段に前記仮想遊技媒体が貯留記憶されていると判定された場合、前記排出制御に基づいた前記排出手段による遊技媒体の排出が開始される前に、前記累積数が前記基準数に達したか否かの判定を行うことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

所定の遊技を実行する遊技装置と、

前記所定の遊技を開始させるべく操作される開始操作手段と、

前記所定の遊技を終了させるべく操作される終了操作手段と、

前記仮想遊技媒体をベットすべく操作されるベット操作手段と、

当該ベット操作手段の操作に基づいて前記仮想遊技媒体をベットするとともに、そのベットした数分の仮想遊技媒体を前記貯留記憶手段に貯留記憶された仮想遊技媒体数から減算するベット制御手段と、

所定数の前記仮想遊技媒体がベットされ且つ前記開始操作手段が操作されることに基づいて前記所定の遊技を開始し、前記終了操作手段が操作されることに基づいて前記所定の遊技を終了するよう前記遊技装置を制御する遊技制御手段と、

前記所定の遊技が開始される場合に前記仮想遊技媒体のベットを不許可とし、前記所定の遊技が終了されたことに基づいてその不許可状態を解除する不許可設定手段とを備え、

前記排出制御手段は、前記不許可状態では前記排出制御を実行することなく、

前記判定手段は、前記排出制御手段による前記排出制御の実行に対応させて、前記累積数が前記基準数に達したか否かの判定を実行することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 に記載の遊技機。